高橋川水害対策

山崎（やまざき）　幸子（さちこ）
議員

質問　高橋川流域における水害対策について、専門機関への調査を委託したが、その調査結果は。

答弁　**（経済建設部長）**　検討の結果、以下４つの案が挙がった。①霞ケ浦の最高水位より低い部分の堤防のかさ上げ・水門設置・ポンプアップ。②ポンプにて、余郷入干拓への一時流入。③輪中（浸水被害家屋の周囲を広範囲に囲み、水が入らないようにする）の整備。④対象家屋のかさ上げ。

質問　調査結果を踏まえての今後の対応策は。

答弁　**（経済建設部長）**　①案の低い部分だけの改修では、違う所での水害を招いてしまう。水門を閉めるタイミングが難しい。②案の干拓のポンプを利用することは能力的に難しい。③案は、氾濫対策の抜本的な解決にはならないが、浸水家屋を守る対策としては有効である。④案は、個人財産であるため、費用面で個人負担が必要となる。以上のことから、③案の「輪中」が費用対効果の上で最も効果的である。詳細な調査検討が必要となるため、平成28年度当初予算に計上する。

平成２５年高橋川氾濫時

　それと、水位を常に監視するためのカメラの設置を検討している。

質問　住民への報告は、対応策が決定してからではなく、それ以前に対象地区のみの回覧でも良いので経過報告をすれば、住民も少しは安心できると思うが、いかがか。

答弁　**（経済建設部長）**　住民への報告は、地元の人たちが、どのような方法が一番安心できるのかを検討する。

子育て支援対策

質問　美浦村が、現在取り組んでいる子育て支援対策は。

答弁　**（教育次長）**　保育所の土曜日の保育時間を半日から一日に延長した。母乳育児の支援として冷凍母乳の受け入れ体制を整備した。私立幼稚園３歳児の村民税非課税世帯の園児に年３０，０００円。上記世帯以外の３歳児に年１８，０００円の助成。妊婦や乳幼児の保護者向けに「きずなメール」配信。医療費は、マル福等で公費助成し、中学３年生までの個人負担医療費の無料化実施。

質問　今後の子育て負担軽減策は。

答弁　**（教育次長）**　給食費と保育料を、義務教育内の第３子全員に全額補助をするとなると、年間約１，０００万円となり、予算の確保が難しい。ほかに支援策がないかが課題である。